

甲佐町オレンジ通信

令和 8 年 1 月 甲佐町地域包括支援センター

第 8 号(通巻第 108 号)



皆さま、新しい一年を迎えるにあたり、心よりご挨拶申し上げます。今年は、午年。馬のように力強く、迷いながらも道を選び、仲間と歩み続けていきたいものです。

認知症のケアも、同じ時間を共有しながら、その人が自分らしく歩ける道を探す営みです。

時に寄り添い、時に並んで歩き、時に背後から支えることが大切です。新年の挨拶、自宅や施設で暮らす高齢のご親族の方に会いに行かれたか？もし、そうなら喜ばれたでしょう。親族の中には、遠縁の一人暮らしの方もいらっしゃるかもしれません。親族や友人の来訪は、本当に嬉しいものです。グループホームなどでは、他の方のご親族の来訪も一緒に喜ぶ方々もいます。

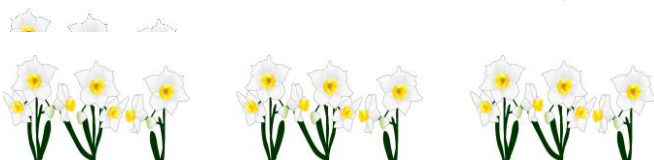
是非、新年の挨拶を明るく皆さんに届けてください。何か届けたいときは百円程度で購入できる干支の置物などいかがでしょうか。大切なのは皆さんの笑顔と気持ちで

す。名乗るときは、自分からどこの誰か名乗ってください。久しぶりだと、身近な親族でも気が付かないものです。孫の写真などあればご持参ください。きっと喜ばれます。話ができなくなった方々にも同じように話しかけてください。目線をあわせて、しゃがんで、そっと、肩や膝に触れてゆっくり話しかけます。閉眼されていても、最後まで、聴覚刺激、耳から入った刺激は有効だと言われています。

長年頑張ってきた後の最後の人生の旅の途中かもしれません。あちこち、頑張ってきた体が痛む方はさすってあげましょうね。「頑張ったね。私たちも頑張るよ。」「今年も元気でいてね。また会いに来るよ。」そんな言葉が、きっと心に沁^しみ入るでしょう。

手作りのプレゼントも良いかもしれません。お手玉ように少し大きい布袋を作り、中に古いあずきやお米を入れます。レンジで軽くチンしてお膝などに当てると簡単なホットパックの出来上がりです。当てるときは温度に気をつけてください。皆さんのやさしいお気持ちが届きますように祈ります。

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114